

外来担当表

外来窓口	科名	時間	月	火	水	木	金
14 整形外科	整形外科	午前	片岡秀雄	安部幸雄	片岡(予約)	武藤正記	片岡秀雄
			武藤正記	高橋洋平	武藤正記	藤澤武慶	藤澤武慶
			藤澤武慶			高橋洋平	
			高橋(隔週)				
スポーツ外科 手の外来		14:00-16:00				安部幸雄	

※外来担当表は、予告なく変更される場合がございます。来院前に必ずお電話でご確認ください。
※休診予定については、お電話にてご確認ください。連絡先:083-262-2300 (代表)



整形外科は脳と内臓以外は
全て診療の対象としており、
小児から高齢者までのあらゆる
機能障害に対応しています。

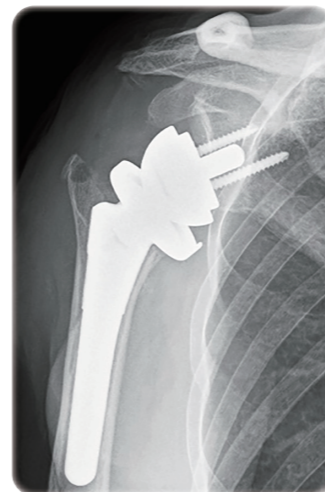


様々な専門分野に分かれています。当科では上肢(手・肘・肩)の外科、関節外科、脊椎外科、骨折などの外傷において積極的に手術治療を行っています。

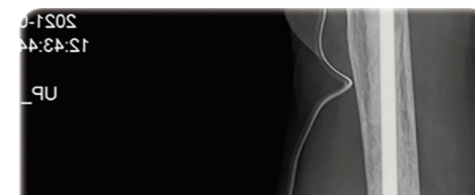


Doctors File 4

整形外科



四肢(運動器)の
障害のない健康な毎日を
患者さんに!



Doctors File 4

山口県済生会下関総合病院の広報誌

2021年10月20日発行 発行者:病院長 森 健治 編集:広報委員会 〒759-6603 下関市安岡町8丁目5番1号 TEL:083-262-2300 FAX:083-262-2301

最新の外来診療表がホームページで確認できます <https://www.simo.saiseikai.or.jp/>

Orthopedic surgery

現代の整形外科事情



上肢の外科

指から肩までの上肢の手術治療を行います。特に多いのは指、手首、肘周囲の骨折です。昨今では関節の変形による受診が増えています。指の第一関節の変形（ヘバーデン結節）は現時点で治療法は限られていますが、他の関節では**関節鏡手術**と**人工関節手術**を行っています。

関節鏡手術とは関節に直径2～4mm程度のカメラを挿入して行う治療で、母指の付け根の関節（CM関節）から手首、肘、肩の手術が可能です。

また手首、肘、肩の骨の大きな変形ではそれぞれ**人工関節手術**（表紙写真）を行うことにより痛みを軽減できます。

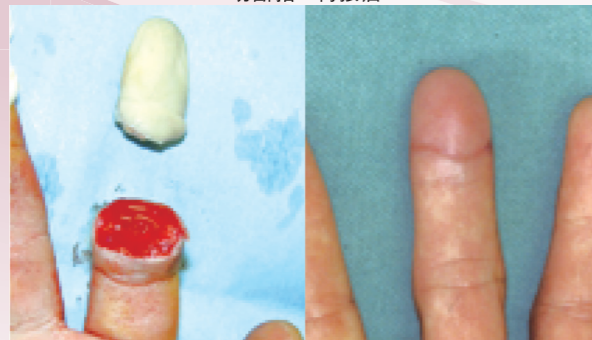
指の切断や神経、血管の断裂に対しては、**マイクロサージャリー**という手術を行っています。これは手術用顕微鏡を使用して直径0.5mm～3mm程度の血管、神経を縫合し再建する手術です。

上記手術は専門医二人が対応しております。これまで様々な国内外の学会に発表し評価を得ています。手の年間手術数は2017年において、新聞紙上で西日本4位の手術数でした。

手首の中



切断指 再接着



脊椎外科

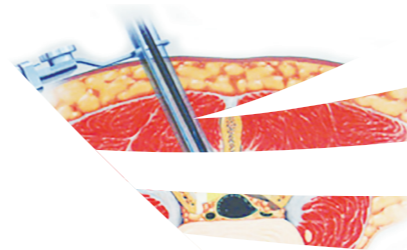
脊椎（頸椎・胸椎・腰椎）の手術治療を行っています。手術で特に多い疾患は腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症です。当院では腰部の手術を低侵襲化するために**脊椎内視鏡手術**を導入しています。脊椎内視鏡は直径16ミリのMED、直径8ミリと7ミリのFEDを使用しています。内視鏡手術の利点は手術中の出血量が少ない、創が小さい（MED 18ミリ、FED 8ミリ）、創部の痛みが少ない、手術翌日から歩行可能、手術後のコルセット装着不要、手術後の早期退院が可能（最短で、椎間板ヘルニア：手術後3日、腰部脊柱管狭窄症：手術後6日）などです。

当院は日本整形外科学会の**脊椎内視鏡下手術・技術認定医**が手術を行っています（認定医は2021年8月の時点で全国181名、山口県2名）。

前勤務先と合わせると今までに879例の脊椎内視鏡手術を施行しており、山口県内では最も手術件数が多いと思われます。

脊椎内視鏡は腰椎椎間板ヘルニアの治療のために元々は開発されました。腰部脊柱管狭窄症の手術にも応用できることがわかり、当院でも腰部脊柱管狭窄症に対して多数の脊椎内視鏡手術を行っています。高齢者の場合、脊椎内視鏡手術は体に対する負担も従来法に比べて軽減され、前述の利点に加えてリハビリの進行がより早く進むなどの利点があります。投薬や注射で症状が改善せず全身状態の比較的良い方はたとえ高齢者でも手術を受けられる方が増えています。

直径16ミリ脊椎内視鏡、MED



直径7ミリ、8ミリ脊椎内視鏡、FED



関節外科

近年、関節外科の技術の進歩は目覚ましいものがあります。今までは諦めるしかなかった進行期の膝や股関節の痛み・障害であっても、手術により改善できる時代となっています。

特に人工関節手術の成績はここ20年で大きく改善し、長期にわたり安全に使用できるようになっています。当院の関節外科でも毎年多くの患者さんに来院していただき、人工関節手術を行っています。

「安全かつ正確な手術」「満足度の向上」を基本理念としております。その実践のために、第1に綿密な術前計画を立て手術に臨んでいます。

具体的には下図のように術前のCTデータから3次元画像を作り、使用するインプラントの種類やサイズ・位置を決定しています。これにより、より正確で確実な手術が可能となっています。第2にリハビリテーションに力を入れています。3週間しっかりと入院リハビリを行い、その後も3か月程度の通院リハビリテーションを行っています。長期のリハビリ入院にも対応しており、患者さん個々の回復状況や家庭環境・年齢に応じて近隣病院と協力行っています。また、近年の高齢化社会に伴い80歳を超える方や合併症のお持ちの方が多いのが現状です。安全に手術を行うために十分な術前検査と準備を行い、合併症に対しては内科医師と密に連携し対応しています。

年齢を重ねても、痛みなく平穏に過ごしたいというのは万人の願いと思います。膝関節や股関節の痛みのために思うような生活ができない患者さんがおられました際には一度当科に御紹介いただければと存じます。

3次元術前計画（CT画像から再構成して作成）
人工関節置換術





安部 幸雄

Abe Yukio

副院長

【出身大学】

宮崎医科大学(昭和62年)

【専門領域】

手、肘、肩(上肢)、マイクロサージャリー、関節鏡手術

【資格】

日本整形外科学会 専門医

日本整形外科学会 スポーツ専門医

日本整形外科学会 関節リウマチ専門医

日本手外科学会 専門医

日本運動器リハビリテーション学会 専門医

The Best Doctors in Japan(2014~2021)

【役職】

山口大学整形外科 臨床准教授

日本手外科学会 代議員

日本骨折治療学会 評議員

日本肘関節学会 評議員

中部日本整形災害外科学会 評議員

Asian Institute of Telesurgery(台湾) 客員教授

香港中文大学 客員教授

シンガポール総合病院 客員教授

Journal of Wrist Surgery

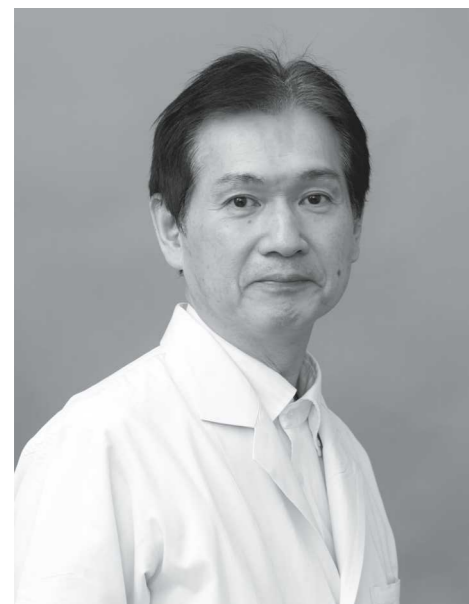
Journal of Orthopaedic Science

Associate Editor

Editorial Board Member

etc.

30数年かけ、国内外で培った知識、技術を提供致します。



片岡 秀雄

Kataoka Hideo

整形外科科長

【出身大学】

山口大学(平成3年)

【専門領域】

脊椎外科

【資格】

日本整形外科学会 専門医

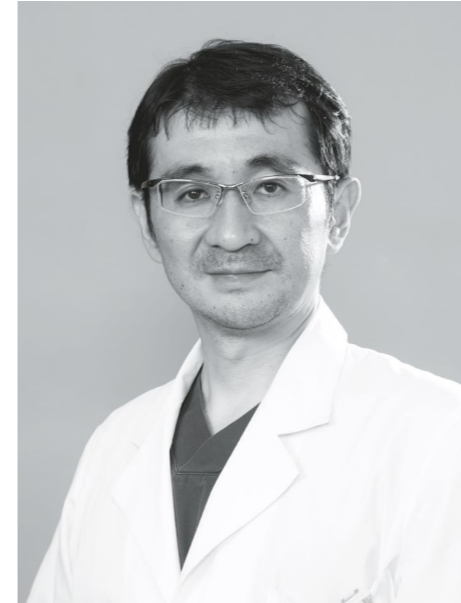
日本整形外科学会 脊椎脊髄病医

日本整形外科学会

脊椎内視鏡下手術・技術認定医

日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄外科指導医

患者さんに多く話し合いのうえ治療方針を汲み取りたいと思っております。



武藤 正記

Muto Masanori

【出身大学】

山口大学(平成14年)

【専門領域】

膝関節、下肢スポーツ外傷

【資格】

日本整形外科学会 専門医

日本整形外科学会 リウマチ専門医

日本体育協会 公認スポーツ医

日本人工関節学会 認定医

「安全・正確な手術」
「患者さんの満足度向上」
をモットーとしています。



藤澤 武慶

Fujisawa Takenobu

【出身大学】

山口大学(平成16年)

【専門領域】

股関節、外傷

【資格】

日本整形外科学会 専門医

日本整形外科学会 スポーツ専門医

日本整形外科学会 リウマチ専門医

日本整形外科学会 運動器リハビリテーション医

日本人工関節学会 認定医

いつまでも
騎子さんと一緒に
考えています。



高橋 洋平

Takahashi Yohei

【出身大学】

山口大学(平成19年)

【専門領域】

上肢、外傷

【資格】

日本整形外科学会 専門医

緊急で処置が必要な
手の外傷など対応させて
いただきますので、
是非ご紹介下さい。